

令和3年度
親子ふれあいデー活動
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

令和3年度親子ふれあいデー活動委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名市	玉名市立滑石小学校PTA
2		玉名郡	南関町立南関第二小学校PTA
3		山鹿市	山鹿市立三玉小学校PTA
4		菊池郡	大津町立大津東小学校PTA
5		菊池郡	大津町立護川小学校PTA
6		合志市	合志市立西合志東小学校PTA (R2年度委嘱校)
7		合志市	合志市立合志南小学校PTA
8		上益城郡	嘉島町立嘉島西小学校PTA
9		上益城郡	甲佐町立乙女小学校PTA
10	県南	宇土市	宇土市立鶴城中学校PTA
11		宇土市	宇土市立走潟小学校PTA
12		宇城市・ 下益城郡	宇城市立当尾小学校PTA (R2年度委嘱校)
13		天草市	天草市立倉岳中学校PTA
14		天草市	天草市立有明小学校PTA
15		天草市	天草市立楠浦小学校PTA
16		上天草市	上天草市立登立小学校PTA
17		八代郡市	八代市立日奈久小学校PTA
18		水俣市	水俣市立袋小学校PTA
19		葦北郡	芦北町立大野小学校PTA
20		葦北郡	芦北町立湯浦中学校PTA
21		球磨郡	水上村立岩野小学校PTA

令和3年度 親子ふれあいデー活動

目次

☆令和3年度親子ふれあいデー活動委嘱校

☆令和3年度委嘱校活動報告

1. 宇土市立走瀉小学校PTA
2. 天草市立倉岳中学校PTA
3. 水上村立岩野小学校PTA
4. 山鹿市立三玉小学校PTA
5. 水俣市立袋小学校PTA
6. 甲佐町立乙女小学校PTA
7. 八代市立日奈久小学校PTA
8. 芦北町立大野小学校PTA
9. 宇土市立鶴城中学校PTA
10. 嘉島町立嘉島西小学校PTA
11. 芦北町立湯浦中学校PTA
12. 合志市立合志南小学校PTA
13. 天草市立楠浦小学校PTA
14. 上天草市立登立小学校PTA
15. 南関町立南関第二小学校PTA
16. 玉名市立滑石小学校PTA
17. 大津町立大津東小学校PTA
18. 大津町立護川小学校PTA
19. 合志市立西合志東小学校PTA(R2年度委嘱校)
20. 宇城市立当尾小学校PTA(R2年度委嘱校)

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年(2021年)度

単位PTA名 (宇土市立走潟小学校PTA)		児童生徒数 (109) 人		
1. 予算執行状況(収入・支出)				
(収入)	県P	¥20,000	(支出)	¥31,531
	単P	¥11,531		
	その他			
2. 活動内容・成果・反省				
◎活動内容 『6年生コサージュづくり』 ・地域の講師(婦人会会長)を講師にお招きし、6年生児童とPTA役員が卒業式用のコサージュ作りに取り組む。6年生児童は、卒業式で身につける自分用のコサージュを講師の指導の下、自らの手で作り上げていく。サポート役としてPTA役員が参加し、6年生や講師のお手伝いを行う。				
◎成果 令和4年3月7日(月)実施予定				
◎反省 令和4年3月7日(月)実施予定				
3. 今後の取り組みについて				
○ 本校の特色は、地域とのつながりが大変深いところである。様々な学校行事に老人会や、婦人会をはじめとする各種団体が一緒になって参加され、強力なサポーターとして学校の教育活動を支えていただいている。 この2年余りのコロナ禍において、その様な交流が大変困難な状況にはあるが、今年度も状況に応じ、対策を講じながら可能な限りの取組を実施してきた。 今後もしばらくは、現在のような状況が続くかもしれないが、これまで大切にしてきた学校とPTAが協力し、学校と保護者、地域とが連携して子供たちの成長を見守っていく活動に力を注いでいきたい。				
4. 要望・その他				
○ いかなる活動を実施するにあたって、多くの「人」と「もの」が必要不可欠である。 本校の場合、「人」はボランティアとして参加をいただいているが、「もの」に対しては幾分か費用も必要となってくる。小規模校である本校は、PTAの財源もそう大きなものではない。そのため熊本県PTA連合会様の本事業は、本校にとって大変有り難く、学校の活性化、子供たちの大切な思い出作りのための大きな支えとなっている。 これまでの御支援に感謝するとともに、今後もこれまで同様の御支援を賜りたいと強く願っている。				

親子ふれあいデー活動報告書

単位 PTA 名 (天草市立倉岳中学校)	児童生徒数 (69) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県 P 20,000 円	(支出) 本代 20,000 円
※詳細については別紙資料添付	
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<ul style="list-style-type: none">・朝の一齐読書・聴写・新聞記事の読み取り学習の実施・地域ボランティアによる毎月の読み聞かせの実施・図書室内外の掲示の工夫・読書推進のための取り組み (ポップ製作・図書室工作教室の実施)	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none">・様々な取り組みを通して、生徒の読書への関心も高めることができた。また、昼休み行った図書室工作教室は生徒を図書室へ呼び込む良いきっかけとなった。・一部を読み聞かせボランティアで使用する本の購入費に充てることで、新しい本との出会いを作ると共に、ボランティアスタッフの負担軽減に協力することができた。	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染予防の為、読み聞かせを実施できない状況が続いている。・工作教室で使用する道具類が個人の持ち寄りになっているので、学校で用意できるよう準備を進める必要がある。	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none">・学力向上という目的のもと、朝の時間をどのように使い、活動を進めていくか改めて周知し、職員の共通理解のもと活動を進めたい。・感染症予防の為、読み聞かせの実施が難しい現状がある。本を通した他の交流の方法を模索し、実施していきたい。	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none">・20,000 の予算で生徒の読みたい本はもちろん、普段の生活で活用できる本も購入することができました。大切にに使わせていただきます。今後も図書室の充実、生徒の読書活動の推進に努めていきます。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (水上村立岩野小学校)		児童生徒数 (70) 人		
1. 予算執行状況 (収入・支出)				
(収入)	県P	20000円	(支出) 掲示用ラミネートフィルム	4000円
	単P	0円	読み聞かせ用マウスガード	13000円
	その他	0円	マウスガード送料	900円
	計	20000円	掲示用油性マジックセット	2100円
			計	20000円
2. 活動内容・成果・反省				
◎活動内容				
(1) 保護者による読み聞かせ (10月から毎週火曜の朝活動で)				
(2) ファミリー読書 (5月と10月に実施)				
◎成果				
・保護者による読み聞かせはコロナ禍、10月から再開し、児童も毎回楽しみに聞くことができた。保護者も意欲的に参加、協力していただいた。				
・ファミリー読書については、親子で取り組んだ本の題名や内容の紹介等をシートに書いてもらい、全児童分を図書室に掲示した。取組状況を把握できるとともに、児童どうしの交流や読書意欲の向上につながった。また、保護者が授業参観等で掲示内容を目にすることで、家庭での読書活動の動機付けにもなった。				
◎反省				
・読み聞かせについては3学期に入り、新型コロナウイルス感染症が急拡大したため再度中止せざるを得なくなり、残念でならなかった。また、読み聞かせをしていただく方の人数確保が難しくなっている。				
3. 今後の取り組みについて				
(1) 保護者による読み聞かせ活動の再開、関係機関と連携した協力者数の確保				
(2) ファミリー読書の推進 (学校ホームページや学年通信等での発信)				
(3) 家庭版テーマ読書の実施				
4. 要望・その他				
・新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮しながら保護者による読み聞かせを10月より再開したが、1月より感染が急拡大したため、再度中止することとなった。今後、リモートによる実施も考えていきたい。また、一人一台のタブレット端末を活用して、家庭での読書活動をまとめたり、交流したりする方法も探っていきたい。				

親子ふれあいデー活動報告書

単位PTA名 (山鹿市立三玉小学校)		児童生徒数 (180) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 単P	¥ 20.000 888	(支出) 親子日めくりカレンダー材料代 ¥ 0 花苗・土 ¥ 19.290 地域交通安全呼びかけ用品代 ¥ 1.598
合 計		¥ 20.888	合 計 ¥ 20.888
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子日めくりカレンダーの募集を行い、言葉と絵を親子で考えて日めくりカレンダーにした。代表作品は、児童昇降口に掲示している。(11月) ・11月と1月を家庭学習頑張り月間と位置づけ、落ち着いて家庭学習に取り組めるような環境づくりを見直し改善する取り組みを行った。(11月、1月) ・親子愛校作業、資源回収活動など、例年ならば親子で共に活動する予定であったが本年度は、児童だけの環境整備活動となり、花植え、畑の芋植えから収穫までの栽培活動を行った。(5月～11月) ・地域区長会、公民館運営委員会等と連携して、交通安全呼びかけ運動を行った。(11月) 			
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で日めくりカレンダーに載せる絵や文を考えることで「楽しく作業ができた」「家族で力を合わせて作品作りができた」「親子の会話が増えた」等と言う声が寄せられた。 ・家庭学習頑張りカードで、毎日のチェックと1週間毎の感想や励ましの言葉をかけてもらったり、記入してもらったりして、児童は意欲的に取り組むことができた。また、保護者は家庭学習へ集中する環境づくりへの関心が高まった。 ・親子作業で、自分たちの学校を自分たちの手で美しくして気持ちよく過ごすことができた。花やさつまいもの植え付け、毎日の水かけ、除草など一生懸命にお世話して、秋にはたくさんの収穫があった。 ・通勤の時間帯に交通安全の呼びかけを行い、地域の方々にゆとりを持った運転の大切さを呼びかけ、自分たちの歩行の仕方等も振り返ることができた。 			
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大予防のため、1学期の間は、全体でのふれあい活動はできず、各家庭でのふれあい活動となった。どの家庭にも協力していただき、制限のある中でも充実した活動ができた。 			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もコロナの状況を見極めながら、ふれあい活動を実施していきたい。 			
4. 要望・その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・年々、PTA会員が減少する中、このような助成金事業に感謝しています。また、自分たちの活動を中間でまとめたり、振り返ったりすることができ有意義でした。ありがとうございました。 			

親子ふれあいデー活動報告書

令和4年2月25日
水俣市立袋小学校

○単位PTA名（水俣市立袋小学校PTA）

児童生徒数（ 171 ）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入）	県P	20,000円	（支出）	花苗購入費	7,500円
	単P	2,320円		プランター購入費	10,900円
	計	22,320円		有機培養土購入費	3,720円
				おれんじ館使用料	200円
				計	22,320円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

現況、コロナ禍よりPTA活動や学校行事等、制限されるなか家庭(家族)は基より、それ以外でのふれあいの大切さと交流親睦を深める目的として下記の行事を企画し実施した。

(1) 親子ふれあい登校

<目的>

児童の登校時間に合わせて、親子・兄弟姉妹・ご家族で楽しく安全に登校し、普段は見ることのない子供たちの登校の様子を見守っていただくとともに、保護者同士の交流・親睦を深める。

<実施日>

- ・第1回：10月23日(土)
- ・第2回：12月4日(土)

(2) PTA『花いっぱい運動』

<目的>

「社会を美しく、明るく、住みよくする」、また、花を通じて人々の気持ちを豊かにする事を目的として、子供たちと保護者の皆様および先生方と一緒に花をプランターに寄せ植えして、袋校区(地域)の事業所様等に寄贈する活動を企画し実施した。

<実施日>

- ・寄せ植え作り：令和3年11月27日(土)
- ・寄せ植への寄贈：令和4年2月26日(土)

<実施に当たって>

- ・コロナ禍での3密を考慮して、参加学年の時間を区分して活動を行う。
- ・対象学年の区分時間にてご参加困難なご家庭は、参加可能な時間帯に参加できるようにする。
- ・花苗は近隣の高校から農業科栽培品を150株、プランターは校区のホームセンターで50個購入し準備する。



◎成果

(1) 親子ふれあい登校

- ・親子で家庭(家)以外の場所でのふれあう楽しさとコロナ禍によりインドア生活が続いていることによる保護者間の交流不足と学校先生方との親睦を改めてこの行事を通じて深めることができた。
- ・普段見ることのできない子供たちの登校の様子を見守ることで、安全に登校していることを確認することができた。

(2) PTA「花いっぱい運動」

- ・苗植え作業・寄贈活動はコロナ感染対策を十分に行った上で実施することができた。
- ・令和3年11月27日に実施した寄せ植え作りには、児童41人・保護者30人が参加した。子供たちがカラフルにペイントしたプランターに寄せ植えをし、50個の寄せ植えのプランターが完成した。先生方を含め親子で作業した時間は大変有意義であった。
- ・プランター寄贈は令和4年2月26日に実施し、当事業担当委員として地方委員・環境委員・保健体育委員を中心に子供たちと共に寄贈活動が行った。(※各事業所様へは事前に訪問のアポイントを取得。)
- ・コロナ禍の中、頑張っておられる袋校区の事業所様、また日頃より本校PTA活動に協力してくださる個人の方々に寄贈することができた。寄贈された先では「きれいなお花をありがとうございます。」「大切に育てます。」といった声が寄せられ、大変喜んでいただけた。

◎反省

- ・プランターを50個準備し50家族の参加を目指したが、コロナ感染症の影響もあり目標数のご家族に参加いただけなかったことが残念だった。
- ・他行事との折り合いもありプランター作りから寄贈活動までに時間がかかった。その期間プランターは学校で保管・管理していただけた。
- ・袋小校区内の50の事業所を選定し寄贈に廻ったが、実施日が土曜日ということもあり閉まっている事業所もあった。事前のアポイントで閉まっている場合は玄関先に置いてくださいとのことだったが、できれば直接手渡ししたかった。

3. 今後の取り組みについて

- ・親子ふれあい登校は保護者間や先生方との親睦を深める非常にいい機会だと感じた。今後も土曜授業や授業参観の日に合わせて実施していく。
- ・花いっぱい運動では、コロナ禍の中、病院や介護施設なども快く受け入れていただき寄せ苗のプランターを寄贈することができた。地域とのつながりを大切にしながら、先生方、親と子、皆が参加でき、協力し合えるPTA活動を模索していく。

4. 要望・その他

今回、ふれあい読書研究会とともに委嘱を受けさせていただき、コロナ禍の中ではありますが、無事に感染者を出すことなく両事業ともに完遂することができました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、その中でも地域と連携し、子供たちのために様々な活動にチャレンジしていきます。ありがとうございました。

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (甲佐町立乙女小学校PTA)		児童生徒数 (116) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 0円 その他 0円 計 20,000円	(支出)	「PTA教育講演会」関係 18,207円 (No1,2) 「学校運営協議会」関係 1,426円 (No3,4) 「学校保健会」関係 367円 (No5) 計 20,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<p>NPO法人「安全安心まちづくり研究会」の方々に講師として来校していただき、PTA主催の親子教育講演会を開催した。また、親子教育講演会後に、学校保健委員会や学級懇談会、学校運営協議会も実施した。</p>			
◎成果			
<p>今回の講演会の内容は、危険を予知・予期・予防するといった危機意識を高めるために親子で学ぶ体験型の防犯講習で、大変意義のあるものとなった。学校保健委員会では、6年生全員と4・5年生の保健委員会の児童が「むし歯の治療」や「メディアコントロール」などの本校の健康課題を改善する呼びかけを、劇にして発表することができた。学校運営協議会では校内のバリアフリー化、騒音問題、校区内の危険個所などについて協議をすることができた。</p>			
◎反省			
<p>コロナ禍でPTA主催の行事が何度も変更や規模縮小、中止を余儀なくされていた中で、今回の親子教育講演会、学校保健委員会、学校運営協議会が開催されたことは大変喜ばしいことであった。来年度も、ぜひ親子で学ぶことができるような講演会を開催していきたい。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>PTA親子教育講演会や学校保健委員会、学校運営協議会で、学校における健康問題や地域ぐるみで安心・安全なまちづくりについて協議することができた。さらに、家庭や地域社会と連携しながら、健康づくりや危険を予知・予期・予防する危機意識を高めていく取組を推進していきたい。</p>			
4. 要望・その他			
<p>児童、保護者、地域の方に感染がなく教育講演会、学校保健委員会、学校運営協議会を開催することができた。今後とも親と子のつながり、地域との連携を深く充実させるためにも本事業を継続していただきたい。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (八代市立日奈久小学校)	児童生徒数 (69) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 9,900円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 日奈久校区では、毎年、夏休み期間中に日奈久中学校と連携して、資源回収と愛校作業を行っており、本年は8月22日(日)に予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、資源回収・愛校作業共に中止となった。	
◎成果 活動中止となったため、収入面での成果は上がらなかったが、新たに今年度行った「地域づくり協議会への働きかけ」を通して、本活動を単なる収益を上げるための作業とするのではなく、児童・生徒と地域とのふれあいを生む貴重な機会であることを再確認できた。具体的には、資源回収の際の挨拶、お礼などの言葉かけをていねいに行うこと、事前の行事の周知方法に「掲示用のチラシ」を加え、長い期間にわたって地域の方々の目に触れるようにしたことが挙げられる。	
◎反省 活動の中止・延期を決めた際に、地域の方々への周知方法が十分でなかった。(これまで、周知のために爆竹を使用していたが、爆竹そのものの費用が活動の収益分を圧迫しており、爆竹を使用しない方法の工夫についても取り組んでいた。当日は、PTA三役及び関係者が地域を回り、声かけを行うこととなった。)	
3. 今後の取り組みについて	
上記の反省も踏まえて、地域の皆様方との連携を深めて、収益の確保はもちろん、保護者と学校と地域で子供達の成長を見守っていくという気運を高める活動として、来年度以降も工夫(地域学校協働活動のコーディネーターの活用の検討等)を加え継続して行っていきたい。	
4. 要望・その他	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (芦北町立大野小学校PTA) 児童生徒数 (36) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入)	県P補助	20,000円	(支出)	NO.1 竹灯り関係	・軍手	2,722円
	単P	5,000円		NO.2	・指導謝礼	5,000円
				NO.3	親子で空手を学ぶ	10,000円
				NO.4	どんどや参加賞	3,000円
	計	25,000円		計		20,722円

※25,000 - 20,722 =4,278円 はPTAに戻します。

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

1 竹灯りづくり (領収書No.1,2 令和3年10月24日・日曜)

芦北町は水害からの「復興元年」ということで、大野地区でも地元有志で「大野 田んなかハロウィンフェスティバル」を計画し、親子で竹灯りを作って、フェスティバルに華を添えることとした。

電動ドリルを使うのが初めての子が多かったが、地域起こし隊員の大町さんらの指導で、楽しく作成できた。



2 親子で空手を学ぶ (令和3年11月21日・日曜)

芦北町は中学校で「空手」が必修なので、慣れるために町の空手道場「海王塾」をお招きして、演舞と講演会を開催した。小学校の収穫祭が中止となり、そこにPTA講演会を組み込んだ。



3 どんどや (令和4年1月16日・日曜)

PTAと学校応援団「忍者の森を守る会」が共催で、コロナ禍2年ぶりの開催を実現した。例年の学校内での開催を、近隣の田んぼで実施することで、地域にもよく見えるようにした。



◎成果・反省

- わずかではあるが、地域の復興に親子で貢献できた。
- すばらしい演技を親子で見て、学ぶところが多かった。
- ▲ どんどやの前日準備に会員の参加が少なかった。呼びかけに反省が残った。

3. 今後の取り組みについて

- 現在、田植え・収穫は学校主体で取り組んでいるが、PTAや地域主導のできる地域である。芦北町は次年度から学校運営協議会がスタートするので、学校側としっかり協議していきたい。



4. 要望・その他

- 隣接校である吉尾小は今年度末で閉校する。大野小も年々児童数が減り続けているので、PTAからも学校や地域にむけて元気を発信していきたい。

親子ふれあいデー活動報告書

令和 3 年度

単位PTA名 (鶴城中学校PTA)	児童生徒数 (787) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 53,705円 その他 0円 計 73,705円	(支出) 材料費等 66,963円 飲料費 2,842円 謝礼費 3,900円 計 73,705円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 本校PTAでは、親子でふれあう活動として、新春を迎える伝統行事の一つである「門松作り」と、今年度は新たな取り組みとして「竹灯籠作り」を12月11日に実施した。材料となる孟宗竹は、12月5日にPTA役員及び一步前への会会員により、校区内の竹林から切り出し、その日のうちにある程度の加工まで行った。 門松作り当日は、生徒約60名、一步前への会を中心としたPTA会員約20名により、校門用の門松及びミニ門松の製作を行い、校門用の門松は生徒会及びPTAが担当し、ミニ門松は各部活動の生徒が製作した。 また、今年度は門松作り完成後に竹燈籠作りも行うことができた。	
◎成果 コロナ禍により年間のPTA活動が中止等を余儀なくされる中、唯一この「門松作り」は実施することができた。製作する中で、生徒と先生・保護者が協力して一つの物を完成させる達成感や喜びが生まれた。また、ミニ門松については、市内約30箇所の事業所等へ贈呈することができ、贈呈先からは大変喜ばれ感謝いただいた。 また、新たな取り組みとして実施した「竹燈籠作り」では、初めての製作作業であり不慣れな点もあったが、綺麗な竹灯籠を作ることができ、校門を彩ることができた。 今回の活動を通して、ものづくりの楽しさや伝統文化を学び、母校や地域を誇りに思う子どもに成長してくれることを願っている。	
◎反省 門松の材料となる孟宗竹やミニ門松の材料である真竹は、地権者のご協力により入手できているため、今後も継続的にご協力をお願いする必要がある。また、竹切り作業や加工作業には人員及び機材が必要となるため、協力者の負担にならないように準備する必要がある。 門松作りでは、今回参加生徒が最終的には約60名となったが、部活動の大会等で参加生徒に限られてくる場合もあるので、多くの生徒に参加してもらえよう、早期の事前調整が必要である。また、保護者の参加についても、事前周知をより広く行い多くの参加者を募りたい。	
3. 今後の取り組みについて	
コロナ禍前に実施できていたカレー等の炊出しを復活させ、活動内容の充実を図り、より多くの生徒や保護者に、門松作り関連活動を経験していただきたい。また、この活動を継続する上で、活動の主体となる「一步前への会」の会員を広く募集し、組織拡大を図っていきたい。	
4. 要望・その他	
今年度の活動は、コロナ禍での唯一の活動であり、例年より多くの予算を必要としたが、この「親子ふれあいデー活動」としてご支援いただき、より充実した活動を行うことができた。また、本活動の中間報告会では、様々なPTAの取り組みが紹介され、今後の活動を行う上での参考とすることができた。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (嘉島町立嘉島西小学校PTA)		児童生徒数 (468) 人																			
1. 予算執行状況 (収入・支出)		6年生の活動-タイムカプセル関連のみの報告																			
(収入)	<table border="0"> <tr> <td>県P</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>単P</td> <td>1,166円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,166円</td> </tr> </table>	県P	20,000円	単P	1,166円	合計	21,166円	(支出)	<table border="0"> <tr> <td>缶</td> <td>9,350円</td> </tr> <tr> <td>便箋</td> <td>9,350円</td> </tr> <tr> <td>名前シール</td> <td>330円</td> </tr> <tr> <td>保管ケース</td> <td>1,916円</td> </tr> <tr> <td>南京錠</td> <td>220円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,166円</td> </tr> </table>	缶	9,350円	便箋	9,350円	名前シール	330円	保管ケース	1,916円	南京錠	220円	合計	21,166円
県P	20,000円																				
単P	1,166円																				
合計	21,166円																				
缶	9,350円																				
便箋	9,350円																				
名前シール	330円																				
保管ケース	1,916円																				
南京錠	220円																				
合計	21,166円																				
2. 活動内容・成果・反省																					
<p>◎活動内容</p> <p>コロナ禍のため各家庭において親子で製作し楽しむことができるもの考えた。また各家庭での活動後は、作品や料理の写真を持ってきてもらい、クラスでお互いに披露し合い、できるだけクラス便りを使って他の家庭にもつながるような形をとった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1～4年 各種工作キットを使って親子で工作 1年「マグカップ」2年「うちわ」3年「フォトフレーム」4年「ファンタジーランプ」 ●5年 もち米を使ったレシピ作り(子どもたちが植えて、刈り取ったもち米を使って) ●6年 卒業式用コースジュキットを親子で作製、卒業式後のレモニーのためのタイムカプセル(いただいた委嘱金はこの活動に使用。) 																					
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思うように外出できない中、一緒に工作して親子の楽しい時間を過ごすことができた。 ・子供が一生懸命工夫しながら、楽しみながら取り組む姿を見ることができて嬉しかった。 ・記念となるものを親子で作ることが出来て、より良い記念品ができた。 ・出来上がったものを学級で友達と見せ合い、お互いの作品の良いところを誉めあったり、クラスで記念写真を撮ったり、工作後も楽しむことができた。 ・親子で一緒に美味しい料理を作ることができた。 ・簡単に作れるレシピも一緒に配布されて、楽しく作ることができた。 <p>などという感想をもらうことが出来て、おおむね成功だったと思う。</p> <p>・この報告書を提出する時点では、卒業式後のレモニーはまだ実施できておらず、報告を上げることができないが、タイムカプセルには親子で話し合っ記念の写真や手紙などを自由に入れる予定である。それを大きなケースに入れて、成人式まで学校に保管してもらう計画になっている。</p>																					
<p>◎反省</p> <p>「コロナ禍なのではないとは言え、やはり以前のように実際に集まって他の親子との交流もしたかった。」という意見もあったが、今後はコロナの状況を見てさらに工夫して、親子の絆を強め、また他の親子との交流もできるような活動を模索し続けていく必要がある。</p>																					
3. 今後の取り組みについて																					
<p>来年度も何らかの親子レクレーションは続けていく。どのような活動になるのかは、今後のコロナなどの状況を見て考えていくこととなる。</p>																					
4. 要望・その他																					
<ul style="list-style-type: none"> ・今回、委嘱金をいただくことが出来て、子どもたちに豊かな活動を計画、実施することができた。本当にありがたく思います。 ・次年度の執行部にも、計画を立ててぜひ応募するように声をかける。 ・中間報告会では、他校の様々な工夫をされた活動を知ることが出来て、大変参考になった。資料は参考のために次年度に引き継ぐことにしている。 																					

親子ふれあいデー活動報告書

R3 年度

単位PTA名 (湯浦中PTA)	児童生徒数 (111) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 (支出) 60,000円 単P 40,000円 その他	
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 申請時予定していたカルチャーデーが新型コロナウイルスの影響で中止となったため、3年生卒業式で親子でバルーンリリース事業を行った	
◎成果 卒業生は新型コロナウイルスや水害の影響で多くの体験や思い出作りの機会を奪われた。少しでも思い出を作るきっかけづくりをと家庭教育部の立案で計画された。 当日天候不良も心配されたが無事に開催され、卒業式のフィナーレとしてふさわしい事業として卒業生に思い出作りの場を提供することができた	
◎反省 卒業式数日前に在校生にコロナ陽性者が出たため、休校その影響もあり卒業式も1週間延期に 予定していたスタッフの都合がつかず、運営スタッフの確保に少し苦勞した。	
3. 今後の取り組みについて 卒業生、また保護者・先生でバルーンリリースを行ったがとても好評だった。引き続き翌年度も開催できるよう引き継ぎを行いたい。	
4. 要望・その他	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名（ 合志市立合志南小学校PTA ）	児童生徒数（ 673 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 20,000円 単P その他	（支出） 20,000円 講師謝礼
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「親子で参加する教育講演会」の開催 <p>例年1月末に開催しているPTA対象の教育講演会に、児童もいっしょに参加できるようにし、親子で会話するきっかけにするために企画した。しかし、1月からの新型コロナウイルス感染症の拡大、まん延防止等重点措置の適用により、急遽学校での講演会を中止し、動画配信により各家庭で視聴できるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画配信期間：令和4年2月28日～3月22日 ※児童・教職員は授業中にも視聴 ・講演内容 ：講師 福永宅司氏（子ども学び館代表、福岡市在住の元小学校教師） 講演・一人芝居「15才 学校Ⅳ（原作は山田洋次監督作品）」 ※「子どもの自尊感情」がテーマ 「もも子（原作は九州共同映画社配給のアニメ）」 ※「命」「いじめ」「仲間」がテーマ ・視聴後の対応：安心メールで、視聴後に親子で視聴の感想などについて会話することを促すとともに、オンラインによるアンケートを実施した。 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策のため、対面での講演会は開催することができなかったが、動画配信による講演視聴（児童と教職員は授業でも視聴）にしたため、多くの保護者が参加（視聴）することができた。講演会の案内では、2つの動画のうち、どちらか1つを視聴するとしていたが、ほとんどの保護者が2つとも視聴されていた。 ○ 全児童が授業中に動画を視聴するとともに、安心メール等で視聴後の親子の会話を促したこともあり、多くの家庭で講演について親子で会話する時間をつくることができた。視聴後のアンケートにも「はじめて親子でいじめについて話をした」「思春期の子どもといっしょに自尊感情の大切さについて考える良い機会になった」などの回答が見られた。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの保護者が参加（視聴）し、視聴後の親子での会話を含めて多くの感想が寄せられたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により年度末の開催となってしまったため、それらの感想等をまとめたり報告したりすることができなかった。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、例年開催していた講演会を親子で参加できるように企画した。今後、他のPTA行事等も親子のふれあいを促すものに見直していきたい。また、今回活用した動画配信など、今後もPTA活動や行事に多くの保護者が参加できる方法を工夫していきたい。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県PTAからの補助のおかげで親子や先生方との貴重な時間をつくることができました。本当にありがとうございました。今後ご支援をよろしくお願いいたします。 	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (天草市立楠浦小学校)	児童生徒数 (121) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000円	(支出) のぼり旗セット 8000円 あいさつ運動垂れ幕 12000円
計20000円	
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 ・毎月第1月曜日をノーメディアデーとして各家庭に親子での時間をもつ事を呼びかけ、さらに、「携帯・スマホ一斉電源OFF」も中学校区全体で一斉に取り組んできた。 ・5年生が親子で稲刈り体験を通して米作りから収穫まで経験することができた。 ・6年生の学校合宿では保護者も一緒に参加し、夕食作りを通して交流を深めることができた。	
◎成果 携帯スマホ一斉電源OFFの取組は校区で徐々に浸透し、全学年平均で最初は81%だったものが現在90%まで実施率が広がった。また、ノーメディアデーの取組状況を見ると、親子で読書などを楽しむ時間が広がっていた。米作りなどの生産活動は一緒に汗を流すことで親子の絆も深まり、活動後の爽快感も共有できていた。また、その収穫したお米を全家庭に配布しさらに、地域のボランティアのみなさんにもプレゼントする事ができた。新型コロナの影響からいくつかの企画を実施することができなかつたのが残念であるが、親子で楽しむ時間もいくつか設定することができた。	
◎反省 新型コロナの影響で計画した学年行事は時期によって実施困難な場合があったが、5年生など年間通じて継続した取組に関しては親子で関わる機会も作り出せた。また、このコロナ禍では参加人数を確保する事に苦慮する。感染症対策と共に参加者が魅力を感じるような呼びかけなどが重要であると感じている。また、ノーメディア・デーの取組は浸透してきてはいるが家庭によってかなり取組への温度差があり、その重要性も含めて保護者へ話す機会を持ちたい。	
3. 今後の取り組みについて 今後はこれまでの取組を継続しながら、さらに多くの保護者にも親子で参加でしていただけるようなPR活動をPTAから発信していきたい。さらに、ノーメディアデーに関する取組はここ数年全校で取り組んでいることであるが、活動の意義を各家庭にこれまで以上に伝えていくことが求められている。	
4. 要望・その他 助成を受けた資金で学校の「あいさつ運動の旗」を作成することができました。今後、児童会を中心とした朝の挨拶運動に取り組む際その旗を活用して地域へのあいさつの輪が広がるような活動に繋げていきます。ありがとうございました。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名（ 上天草市立登立小学校 ）	児童生徒数（ 194 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 20000円 単P その他	（支出） 20000円 ・エコバッグ作成費補助
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 創立150周年記念事業（エコバッグ作成・遊具設置） 9月…創立150周年記念エコバッグの図案募集。 10月…親子で考えた力作40点の中から、実行委員会で2点を選出。発注をかける。 11月…21日（日）の記念祝典で、完成したエコバッグをお披露目。児童やお世話になった地域の方々に配付。応募作品はすべて記念祝典会場に掲示した。 あわせて、学校関係者や地域の方々からの多くの寄付により、遊具の設置が決定したことも報告。	
◎成果 ・自分たちで考えた図案がエコバックに印刷、配付されることから、応募への意欲を高めることができた。 ・エコバッグの図案を家族による作品募集を行ったことで、親子で一緒に図案を考える時間をもつことができた。 ・記念祝典では完成したエコバッグのお披露目もあった。惜しくも図案として選ばれなかった作品も体育館に掲示され、掲示された児童はとても嬉しそうな表情であった。	
◎反省 ・できあがったエコバッグを学校行事や地域行事で販売する予定であったが、コロナ渦により150周年記念祝典も児童と保護者のみの参加となったため、販売する機会がなく、全校児童、150周年記念事業でお世話になった方への配付という形に変更となった。 ・コロナ禍の影響により、記念祝典等が地域の方々と一緒に行うことができなかった。 （しかし、校区のパレードでは、多くの方が沿道に出て150周年を祝ってくださった。） ・遊具を設置し、体力向上まで結果を出せるとよかったのだが、工事等の関係で、設置は来年度以降となってしまった。	
3. 今後の取組について	
遊具の設置後は、学年PTA活動等で、講師を招いて体力づくり活動を行ったり、体力づくりについてのお話を聞いたりして、体力向上の意識を高めていきたい。 また、寄付などにより地域の方の小学校への思いの強さ、登立校区の絆の深さを感じたので、コロナが収束したら、PTA、地域が一体となった交流活動を推し進め、健全な子供の育成、地域の活性化を図っていきたい。	
4. 要望・その他	
県PTA連合会様にご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、PTAと地域が一体となった創立150周年記念事業を実施することができました。今後も、児童、職員、保護者そして地域とのふれあい活動を推進していきたいと思っておりますので、来年度以降も本事業を継続していただけると嬉しいです。	

親子ふれあいデー活動報告

令和3年度

単位PTA名 (南関町立南関第二小学校)	児童生徒数 (77) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20000円 単P 6823円 その他	(支出) 秋祭り 26,823円 ・材料代 (つり、ボーリング、スライムなど)
2. 活動内容・成果・反省	
◎ 活動内容 例年「もちつき大会」を実施していました。しかし今年度もコロナ感染拡大防止のため、もちつき大会のかわりに、少しでも子どもたちに楽しい時間を過ごしてほしいという思いから、『二小PTA秋祭り』を企画しました。金魚すくい、保護者の手作りによるボーリングやおかしつり、そしてスライムづくりを行いました。平日での開催でしたが、親も子どもも楽しいひとときを過ごすことができました。	
○ 実施日 10月13日(火) 14:50～15:50 体育館にて実施 1 開会・・・PTA会長 2 注意事項・・・PTA役員 3 活動・・・縦割り班ごとに行動 4 閉会及び片付け・PTA役員	
◎ 成果 ○ PTA役員以外にも、保護者によるボランティアの皆様にお手伝いいただいたおかげでスムーズに進行し、子どもたちは活動に集中し、楽しむことができました。 ○ 活動毎に分担し、進行したため、子どもたちがより楽しめるような工夫や声かけをしていただいたため、大変盛り上がり、大人も子どももみんなが楽しめました。	
◎ 反省 ○ 来年度以降も継続するかどうかを今後、検討する必要があります。	
3. 今後の取り組みについて	
○ 来年度も、新型コロナウイルス感染予防が必要であることを考慮し、今後も秋祭りを実施するのか、他の活動にするのかを検討する。	
4. 要望・その他	
○ 本年度、親子ふれあいデー活動の助成を受けることができ、大変感謝しております。今後も親子ふれあいデー活動を継続、充実させるためにも、さまざまなご支援、ご協力をいただければありがたいと思っております。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名（ 滑石小学校PTA ） 児童生徒数（ 105 ）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入） 県P 20000円 （支出） 20273円
 単P 273円
 その他

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

- ・6年生の保護者を中心に、児童と花苗や美化作業。

◎成果

- ・本年度も新型コロナウイルスの影響で、例年通りの活動ができず、今年初めて親子で触れ合えるイベントとなった。
- ・6年生を中心に、花苗・イチゴ苗を植え、学校や学校周辺の美化作業を行なった。
- ・グラウンドは草だらけだったが、とてもきれいなグラウンドへと変化し、学校もとても美しくなり、児童もとても喜んでいた。

◎反省

- ・新型コロナウイルスの影響で、10月までの行事は全て中止となり、とても残念だった。楽しみにしていた児童や地域の方々にも大変申し訳なかった。

3. 今後の取り組みについて

- ・児童数は少ないが、児童・PTA・地域が一体となり、もっと交流を深める場を作るとともに、児童が意欲をもち取り組めるものを考えていきたい。

4. 要望その他

- ・委嘱いただき、大変ありがとうございました。今後もコロナの影響により、出来るPTA活動もかなり制限されてくるので、コロナ対策にも活用できるような助成金などあれば小規模校はとても助かります。ご検討を宜しくお願いいたします。

親子ふれあいデー活動報告書

R3 年度

単位PTA名 (大津東小学校)		児童生徒数 (47) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 5,497円 その他	(支出)	親子ふれあいフェスタ 14,093円 花苗・肥料 11,404円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 【親子ふれあいフェスタ】11/21(日) ・餅つき...全児童が縦割り班で杵とうすを使って餅つきや餅丸め体験を行いました。 ・焼き芋...学校の畑で育てたサツマイモを事前に収穫し、当日はそのサツマイモで焼き芋をしました。 フェスタ終了後にはサプライズでお菓子のつかみ取りゲームを行いました。			
◎成果 本来は地域の方々をお招きして豚汁づくりや餅つきを一緒に教えてもらいながら楽しめる恒例のイベントでしたが、今年度はコロナの影響で例年通りに開催することができませんでした。児童・保護者・先生の参加だけに縮小し、感染症対策を徹底して行いました。 昨年度もコロナで中止となったため、2年ぶりのイベントに児童も保護者も楽しい一日を過ごせました。			
◎反省 コロナ禍で祖父母などの家族や地域の方が参加できず、作ったお餅も一人暮らしの高齢者に配ることができず非常に残念でした。			
3. 今後の取り組みについて			
卒業式に備えて3/12(土)に親子花植えを予定していましたが、熊本県のまん延防止等重点措置の延長に伴い、児童は参加せずに母親部員数名のみで花植え作業を実施いたしました。 ここ数年はP数が減少傾向にあるので、今後も親子のつながりを深め、更には地域の方々も一緒に交流できるイベントを続けていきたいと思えます。			
4. 要望・その他			
毎年委嘱していただきありがとうございます。 小規模校ですが、このような親子で触れ合えるイベントが開催できることを大変感謝しています。			

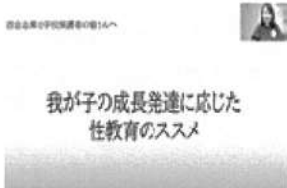
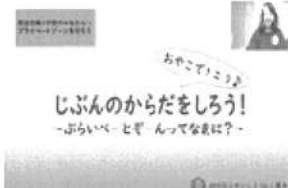
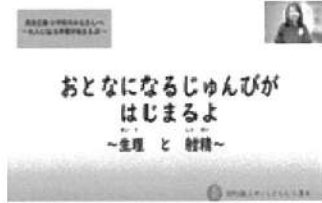
親子ふれあいデー活動報告書（最終）

令和3（2021）年度

単位PTA名（ 大津町立護川小学校PTA ）		児童生徒数（ 177 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）		
（収入） 県P 20,000円 単P その他		（支出）20,000円
2. 活動内容・成果・反省		
◎活動内容 「親子で楽しむ焼き芋パーティー」 <実施内容> 実施日：令和3年12月17日（金） 場所：護川小学校 ・ 持久走大会において、大津町特産品のさつまいもを使った焼き芋を味わった。		
2段の焼き芋で約350個の焼き芋を焼きました		執行部役員
		
◎成果		
<ul style="list-style-type: none">・ 当初は持久走大会後にホクホクの焼き芋を親子で食べる予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、安全を優先し持ち帰りとした。ホクホクの焼き芋とはならなかったものの、芋農家の保護者さんの協力により、しっとりの甘みのある焼き芋を食べることができた。・ また、わずかな時間ではあったが、焼き芋をつくる過程で、役員同士の交流がなされ、様々な情報交換ができた。		
◎反省		
<ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、当初予定していたフェスタを中止せざるを得なかったことは非常に残念だったが、そのような中でも何かできることはないかと、保護者同士で意見を出し合い、子どもたちが郷土の特産品に触れる機会ができたことはよかったと思う。まだ収束のみえない状況だが、コロナが落ち着いたら、地域の方々とも交流できる場を、PTAが中心となって作っていきたい。		
3. 今後の取り組みについて		
<ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、ゆるやかながらも、温かいふれあいの時間を子どもたちと共有できるような活動を計画していきたい。		
4. 要望・その他		
2年ぶりの申請でしたが、このような機会をいただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。		

親子ふれあいデー活動報告書

R3 年度

単位PTA名 (西合志東小学校) 児童生徒数 (880) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 10,000円 その他	(支出) 講師謝礼 30,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>親子で学ぶ「性教育」YouTube期間限定配信 講師：NPO法人せいしとらんし熊本 中村和可子氏 内容：「命のはなし～親子で学ぶからだとこころ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者向け 我が子の成長発達に応じた性教育のススメ ②親子向け～プライベートゾーンを守ろう！ ③親子向け 大人になる準備が始まるよ！～生理と射精～ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>我が子の成長発達に応じた 性教育のススメ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>じぶんのからだをしよう! -ぶらいべーヒダ んってなまは?-</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おとなになるじゅんぴが はじまるよ ~生理と射精~</p> </div> </div>	
<p>◎成果</p> <p>これまでの教育講演会では親子で学ぶテーマを設けることができなかったが、自宅で講話を聞くことができる内容を実施することが可能となった。</p>	
<p>◎反省</p> <p>コロナ感染拡大が大きい時期での準備だったため、スケジュールが大幅に遅れることになった。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
YouTube配信等が可能になってきたため、直接参加できないPTA会員さんも後日参加できるような企画ができると思う。学びの機会の幅が広がることを期待しています。	
4. 要望・その他	
(Blank space for additional comments)	

親子ふれあいデー活動報告書

令和3年度

単位PTA名 (宇城市立当尾小学校)		児童生徒数 (375) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P その他	(支出)	令和2年度 卒業式コサージュ材料費 4,514円 令和3年度 卒業式コサージュ代 (一部) 15,486円 <hr/> 20,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 〔令和2年度〕 ○令和2年10月31日(土)に「当尾小まつり」として、保護者・地域の方々と学年に応じたふれあい活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により場所の確保等が難しいとPTA本部役員会で判断し、中止を決定した。 ○令和2年12月上旬、学年毎に実施の有無について保護者の意見を集約した結果、学年毎、それぞれ別日の実施においても、熊本県で新たに感染が拡大している状況では、本年度の実施は難しいという判断にいたった。 ○令和2年度の6年生は、本年度、本来の活動が中止又は縮小となったため、卒業前に親子でのふれあい活動を行いたいという保護者からの要望があり、卒業式に使用するコサージュを親子で作成した。地域の方にゲストティーチャーをお願いし校内で実施した。 〔令和3年度〕 ○本年度は、各学級又は各学年、感染状況を見ながら親子での活動を行う予定だったが、実施は難しかった。 ○令和3年度の6年生も、昨年同様卒業式に使用するコサージュを親子で作成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため集まって作成することが難しく中止となった。残金は、コサージュの購入費用の一部に充てさせていただいた。			
◎成果 ○令和2年度の卒業コサージュ制作は、学校行事やPTA行事の中止が相次ぐ中、小学校生活最後の親子ふれあい活動となり、保護者も児童も楽しく活動することができた。地域人材の発掘にもつながった。			
◎反省 ・コロナ禍の中でPTA活動自体が停滞し、話し合いもままならない状態の1年であった。			
3. 今後の取り組みについて			
○12月に行われた中間報告会での各校の活動も参考にしながら、今後は、オンライン会議システムやコロナ禍にあってもできる新しいPTA活動(親子や地域とのふれあい活動)を検討し計画していく必要があると感じている。			
4. 要望・その他			
○希望しながら、思うような活動ができず残念でした。いろいろ御配慮いただきありがとうございました。			

親子ふれあいデー活動

令和4年3月31日発行

熊本県PTA連合会

会	長	田中	万里
家庭教育担当副会長		古澤	美和
家庭教育委員長		橋本	昭